

—令和6年度 介護労働実態調査結果について—

(「事業所における介護労働実態調査」及び「介護労働者の就業実態と就業意識調査」)

公益財団法人介護労働安定センターでは、令和6年度に実施した「事業所における介護労働実態調査」、「介護労働者の就業実態と就業意識調査」の結果を公表いたしました。

「事業所における介護労働実態調査」は、介護事業所を対象に「介護事業所で働く介護労働者の労働条件、雇用管理の状況、教育・研修の状況及び福利厚生等の状況等」についてアンケート調査し、「介護労働者の就業実態と就業意識調査」では、介護現場で働く介護労働者を対象に「就労の状況、労働条件の状況及び就業意識の状況等」について、詳細なアンケート調査を実施したものです。

当支部では、全国数値をもとに地域特性の参考値を付記しましたのでご活用下さい。

これらの調査結果を、介護労働者の働く環境と、より質の高い介護サービスの提供に向けて、関係各方面で広く活用していただければ幸いです。

調査実施の各段階でご協力いただいた関係者の皆様並びに調査票の回答にご協力いただいた多くの介護労働者の方々に心より感謝申し上げます。

なお、全国調査の詳細は、(公財)介護労働安定センターのホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

<https://www.kaigo-center.or.jp/report/jittai/>

令和6年度 介護労働実態調査結果—都道府県版(山梨)—

【記載内容】

事業所における介護労働実態調査

1 回答事業所の基本情報

- (1) 法人格（経営主体）
- (2) 事業所従業員数
- (3) 訪問介護員・介護職員の従業員数及び高齢者比率
- (4) 実施している介護サービスのうち、主とするサービスの種類

2 人材の確保・定着の状況

- (1) 採用率、離職率、増減率
- (2) 従業員の過不足状況
- (3) 採用した従業員の人数や質の評価
- (4) 従業員の定着状況

3 採用活動の実施状況

- (1) 採用活動において行っているもの
- (2) 採用活動において採用に効果があったもの

4 雇用管理の取り組み

- (1) 仕事と育児・介護の両立支援を進める上での課題
- (2) 従業員の採用や職場定着・離職防止のための方策（行っているもの）
- (3) 従業員の採用や職場定着・離職防止のための方策（採用に効果があったもの）
- (4) 従業員の採用や職場定着・離職防止のための方策（職場定着に効果があったもの）
- (5) 事業を運営する上での課題

5 介護ロボット、ICT 機器等

- (1) 介護ロボット、ICT 機器等の導入・利用状況（日常的に利用しているもの）
- (2) 介護ロボット、ICT 機器等の導入効果

6 外国籍労働者について

- (1) 外国籍労働者受入れ状況
- (2) 外国籍労働者の今後の受け入れの考え
- (3) 外国籍労働者受け入れの課題

介護労働者の就業実態と就業意識調査

1 回答労働者の基本属性

- (1) 性別・年齢・雇用形態・就業形態
- (2) 現在の育児・家族介護の状況、仕事の継続可能性

2 現在の仕事（職種）について

- (1) 現在持っている資格
- (2) 現在の仕事（職種）を選んだ理由
- (3) 現在の仕事に就く前の仕事（直前の仕事）
- (4) 直前の仕事が介護関係の仕事であった介護従事者の直前の仕事をやめた理由
- (5) (4)の理由のうち、「職場の人間関係に問題があったため」の具体的内容
- (6) (4)の理由のうち、「勤務先の事業理念や運営のあり方に不満があったため」の具体的内容

3 現在勤務している事業所について

- (1) 現在の法人に就職した主なきっかけ
- (2) 現在の法人に就職した理由

4 勤務状況・勤務条件等について

- (1) 1週間の残業時間数
- (2) 年次有給休暇の新規付与日数
- (3) 年次有給休暇の取得日数
- (4) 深夜勤務の状況
- (5) 仮眠・休憩の状況
- (6) 時間給の単価
- (7) 通常月の税込み月収（賃金支払形態が月給の者）

5 働く上での悩みや意識

- (1) 労働条件・仕事の負担についての悩み、不安、不満等
- (2) 職場でのハラスメント
- (3) 利用者やその家族からのセクハラ、暴力等

6 勤務先の取り組み

- (1) 職場を辞めずに働き続けることに役立っているもの

7 勤務先への評価について

- (1) 現在の仕事の満足度（満足＋やや満足）
- (2) 仕事（職種）の今後の希望
- (3) 今の事業所での就労継続意向